※令和４年度以降入学生用

学校番号	311

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教材	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年次の「歴史総合」の学習をより深め、２年次の「日本史探究」の学習の補完の内容を行います。基礎的・基本的な歴史事象を中心に学習を行います。また、世界から見える日本という視点をもちながら「問い」をたて、日本の歴史を多角的視点から考察していきます。
・授業は、教科書・プリント・画像・実物教材・映像を使っておこない、歴史に興味を持てるように工夫していきます。
・基礎的・基本的な事項を確認するために、授業において、定期的に小テストをおこないます。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおりに育成することを目指す。

（１）知識：歴史の変化に関わる諸事象について、日本と世界を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる日本の歴史を理解する。
技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

（２）日本の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

（３）日本の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の歴史の変化に関わる諸事象について、日本と世界を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる日本の歴史を理解する。 諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	日本の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察することができる。 歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想し、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	日本の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	近現代の地域・日本の世界	①大日本帝国の形成	a:立憲体制への移行，国民国家の形成，アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。 b:アジアや欧米諸国との関係，地域社会の変化などに着目して，主題を設定し，近代の政治の展開と国際的地位の確立について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈などを、根拠を示して表現している。 c:近代の特色や時代を通観する問い，近代を展望する仮説を踏まえ，資料を扱う技能を活用し，事象の意味や意義，関係性，歴史に関わる諸事象の解釈などを多面的・多角的に考察し，根拠を示して表現しようとしている。	定期考査	定期考査 思考表現問題	思考表現問題 授業内活動

※令和４年度以降入学生用

２学期	近現代の地域・日本の世界	①大日本帝国とデモクラシー ②アジアの戦争と第二次世界大戦	a:第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会，国民生活の変容を理解している。 b:アジアや欧米諸国との関係，地域社会の変化，戦争が及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済，国民の政治参加の拡大について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを、根拠を示して表現している。 c:時代の転換に着目して，近代の特色や時代を通観する問い，近代を展望する仮説を踏まえ，資料を扱う技能を活用し，戦争がもたらした国内的，国際的な変化，それぞれの重要性や相互の関係について事象の意味や意義，関係性，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的･多角的に考察し，根拠を示して表現しようとしている。	定期考査	定期考査 思考表現問題	思考表現問題 授業内活動

※令和４年度以降入学生用

３学期	近現代の地域・日本の世界	①現代日本社会の形成と展開	a:我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係，現代の政治や社会の枠組み，国民生活の変容を理解している。 b:第二次世界大戦後の政治や社会の類似と相違，冷戦の影響，グローバル化の進展の影響，国民の生活や地域社会の変化などに着目して，主題を設定し，戦前と戦後の国家・社会の変容，戦後政治の展開，日本経済の発展，第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを、根拠を示して表現している。 c:日本と世界の相互の関わり，地域社会の変化，いままでの学習でみいだした画期などに着目して，事象の意味や意義，関係性などを構造的に整理して多面的・多角的に考察することができる。	定期考査	定期考査 思考表現問題	思考表現問題 授業内活動

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度